

会社の概況

商号 丸善CHIホールディングス株式会社
(Maruzen CHI Holdings Co., Ltd.)
本社 〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町31番地2
代表番号 03-6735-0785
URL <http://www.maruzen-chi.co.jp>
設立 2010年2月1日
資本金 30億円
事業内容 書籍及び雑誌等の販売、学術情報その他情報提供サービス業、並びに図書館運営受託業務及び図書館等の教育施設の運営代行、建築工事の設計・監理及び請負業、図書、雑誌の出版業等の事業を営む会社の株式を保有することによる当該会社の事業活動の管理 他

グループ会社

- ◆丸善雄松堂株式会社
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
- ◆株式会社図書館流通センター
〒112-8632 東京都文京区大塚3-1-1
- ◆株式会社丸善ジュンク堂書店
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町11-24
- ◆丸善出版株式会社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
神田神保町ビル6階
- ◆株式会社hontoブックサービス
〒141-8001 東京都品川区西五反田3-5-20
DNP五反田ビル

役員

取締役会長	中川 清貴	取締役 常勤監査等委員(社外)	瀬川 静真
代表取締役社長	松尾 英介	取締役 監査等委員	峯村 隆二
常務取締役	五味 英隆	取締役 監査等委員(社外)	茅根 熙和
取締役	矢野 正也	取締役 監査等委員(社外)	大胡 誠
取締役	細川 博史		

株主優待として、
商品券を同封しております

100株(1単位)以上保有されている株主様が対象です。

毎年7月31日現在の保有株式数に応じて、全国の丸善、ジュンク堂書店の店舗*でご利用いただける商品券を、年1回、9月下旬にお送りしております。

- * 詳細はこちらをご覧ください。
- 商品券に同封の「ご利用店舗一覧」当社ホームページ

株主優待のページはこちら
<http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/yutai.html>



①お知らせ 昨年発行の株主優待商品券の有効期限を延長します

2019年7月31日を基準日とする株主優待(2019年9月下旬発行、「2020年11月末日」が有効期限の株主優待商品券)につきましては、**有効期限を2021年1月末日まで延長いたします。**

詳細につきましては、上記の株主優待のページをご参照ください。



この報告書は、FSC® 認証紙と、環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しております。

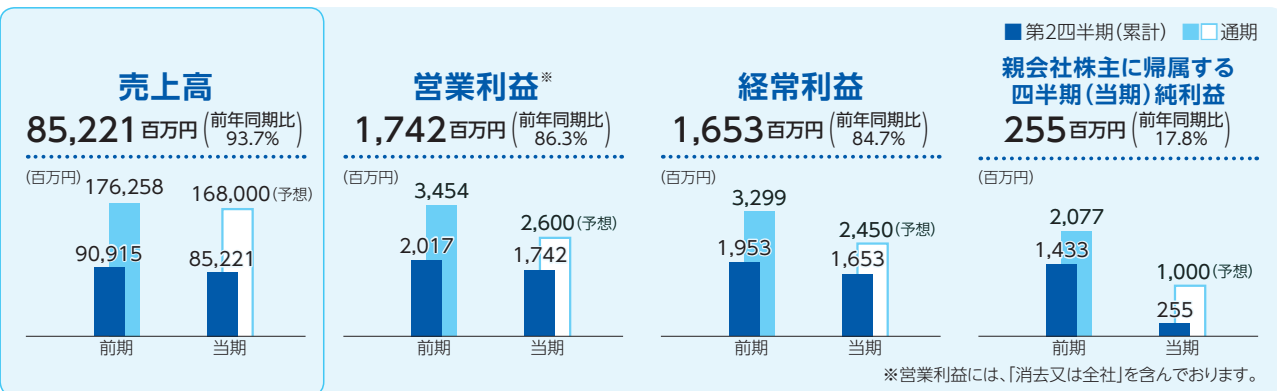
BUSINESS REPORT

株主・投資家の皆さまへ

第11期(第2四半期累計) 2020.2.1 - 2020.7.31

知

連結業績サマリー



売上高構成比

文教市場販売事業 35.7%

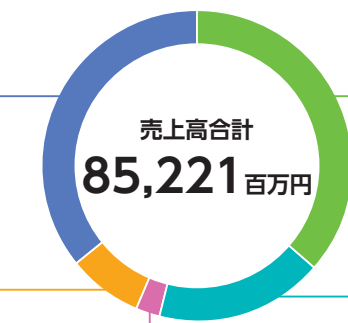
売上高 30,400百万円(前年同期比 97.8%)
営業利益 1,687百万円(前年同期比 102.4%)

●新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言が発出されたことにより、ほとんどの大学が休校となったことを受け、大学売店の休業もしくは営業時間の短縮、訪問営業の自粛等の対応をした結果、売上高は30.4億円(前年同期比2.2%減)と減収となりました。しかし利益面につきましては比較的利率の高い商品の売上高が増えたこと、原価、経費の抑制に努めたことにより、営業利益は16億87百万円(前年同期比2.4%増)と増益となりました。

その他事業 7.8%

売上高 6,692百万円(前年同期比 90.6%)
営業利益 305百万円(前年同期比 58.6%)

●店舗内装業において新型コロナウイルス感染症の影響により、主要顧客の投資意欲が低下したため、新店・リニューアル店の受注が減少した結果、売上高は66億92百万円(前年同期比9.4%減)、営業利益は3億5百万円(前年同期比41.4%減)と減収減益となりました。



出版事業 2.5%

売上高 2,119百万円(前年同期比 109.8%)
営業利益 139百万円(前年同期比 301.1%)

●専門分野として『沙漠学事典』『極論で語る麻酔科』『富士山境目図鑑 境目だから面白い、五合目の地質と動植物』『やさしい日本語』表現事典』『有機EL研究概論 革新的イノベーションを生んだ科学と技術』、児童書として『なんでも魔女商会シリーズ』『にじいろフェアリーしずくちゃんシリーズ』『これでカンパキ!マンガでおぼえる俳句・短歌』など、合計新刊113点(前年112点)を刊行いたしました。児童書の刊行数増加により売上高は21億19百万円(前年同期比9.8%増)と増収し、加えて経費削減に努めた結果、営業利益は1億39百万円(前年同期比201.1%増)と増益となりました。

店舗・ネット販売事業 36.4%

売上高 31,019百万円(前年同期比 84.4%)
営業利益 △188百万円(前年同期比 -)

●新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発出及び自治体からの各種要請を受け、ほとんどの店舗で休業もしくは営業時間の短縮等の対応を行ってまいりました。現在も一部店舗では時間短縮営業を継続しております。その結果、売上高は31.0億円(前年同期比15.6%減)と大幅減収となり、利益面につきましても1億88百万円の営業損失(前年同期1億65百万円の営業利益)となりました。

図書館サポート事業 17.6%

売上高 14,989百万円(前年同期比 108.8%)
営業利益 1,271百万円(前年同期比 114.9%)

●図書館受託館数は、学校図書館を中心に期初1,489館から197館増加し、2020年7月末時点では1,686館(公共図書館554館、大学図書館221館、学校図書館他911館)となり順調に推移しております。その結果、売上高は14.9億89百万円(前年同期比8.8%増)、営業利益は12億71百万円(前年同期比14.9%増)と増収増益となりました。

ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、いまだ収束を見ない新型コロナウイルス感染症拡大の中、罹患されました皆様にお見舞い申し上げますとともに、医療機関や介護施設をはじめ、このような環境下においても社会インフラの維持に従事されております皆様に対し、深く感謝申し上げます。

当社グループの2021年1月期第2四半期累計業績は、この新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、売上高は852億21百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益は17億42百万円(同13.7%減)、経常利益は16億53百万円(同15.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億55百万円(同82.2%減)と、減収減益となりました。

主な事業セグメント別では、文教市場販売事業は、大学・教育機関で業務全般が休止する等の影響から受注減となりましたが、電子系商品の伸長や、公共図書館向け販売事業が比較的堅調に推移した結果、減収増益の業績となりました。店舗・ネット販売事業は、緊急事態宣言中にはほとんどの店舗で臨時休業、時短営業の措置をとったことから、大幅な減収減益となりました。図書館サポート事業は、図書館休館の影響は一部にあったものの、新規受託館の増加などによりカバーし、増収増益となりました。

以上のとおり、当第2四半期累計期間の当社グループの業績は、店舗・ネット販売事業を中心に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けましたが、今後もこの感染症拡大は個人の生活や、社会・経済活動全体において、これまでの行動様式に大きな変容をもたらすものと考えます。このような環境変化に対し、当社グループでは、文教市場販売事業において、電子図書館システム、電子書籍・電子教材の受注拡大や、これまで大学構内で実施していた教科書販売を通販型販売にシフトする取り組みを進めております。また、店舗・ネット販売事業においては、引き続き感染拡大防止策を徹底した営業を行うとともに、配達サービス業者との連携などによる非来店型販売モデルの導入、書店発信のオンラインイベントの実施など、店頭販売収益に依存した事業モデルからの変革に注力しております。

大変厳しい環境の中ではありますが、当社グループは、生活者の新しい行動様式や社会・経済活動の変化に応じた事業モデル構築に取り組んでまいりますので、株主の皆様には、引き続きご指導ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。



丸善CHIホールディングス株式会社
代表取締役社長 松尾 英介

TOPICS

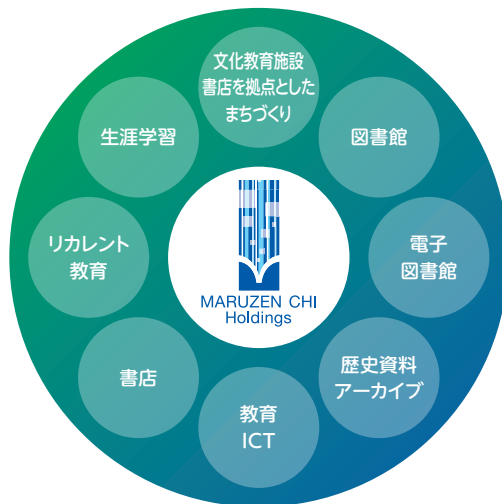
トピックス

丸善CHIホールディングス(株)

「CHI創生研究所」を新設

2020年4月、丸善CHIホールディングス内に「CHI創生研究所」を新設いたしました。大日本印刷、丸善雄松堂、図書館流通センター、丸善ジュンク堂書店の4社が長年培ってきたノウハウを統合して、地域創生に貢献していくことを目的としています。

少子高齢化、グローバル化、情報化の進む社会において、地域がより豊かになるためには、子供から高齢者までが生き生きと活動できるコミュニティがあることや、学び、健康、子育てなどへの支援機能が大切な役割を果たします。これらの課題に対して、4社が力を合わせ、知「CHI」を核として、地域コミュニティ活性化のためのイベント活動などのソフト面、図書館や書店を中心に、よりよい学びと出会える環境作りなどのハード面の双方において、暮らしと学びを支援いたします。これからの日本社会の成長に、地域の一層の活性化を通じて貢献してまいります。



丸善ジュンク堂書店(株)

丸善創業の地 横浜にブック&カフェがオープン

2020年8月17日、横浜市役所内商業施設 ラクシス フロント2階に、丸善が創るはじめてのブック&カフェ「HAMARU ラクシス フロント店」がオープンいたしました。

丸善は1869年(明治2年)横浜の弁天通りで創業しました。それから150余年の時を経て“ふるさと横浜”にてオープンする新たな店舗を「YOKOHAMA」[MARUZEN]から文字を受け継いだ「HAMARU」と名付けました。

創業当時の丸善は、海外からの「上質な」書籍や文具、薬品などを日本に紹介する事業を手掛けていました。令和という新しい時代を迎えた今日においても「上質」は丸善のキーワードです。セレクトされた書籍、音楽、雑貨に囲まれて、ここにしかない「上質」な時間をお過ごしいただける空間、それが「HAMARU」です。



心地よさを追求してデザインされた店内



丸善伝統の「早矢仕ライス」も提供

丸善雄松堂(株)

日本最大の学術・研究機関向け配信サービス「Maruzen eBook Library」の同時アクセス数の臨時拡大を実施

丸善雄松堂が開発・運営する学術・研究機関向け配信サービス「Maruzen eBook Library」(http://kw.maruzen.co.jp/ln/eb/ebL_01.html)では、学術書籍に特化して約80,000点以上の電子書籍を提供し、現在、国内外の800機関以上でご利用いただいています。大学等の高等教育機関における構内への立ち入り制限のため、図書館を利用できない方の学習・研究支援を目的に、4月10日から7月31日までの期間、合計150社の出版社の協力により、約29,450点のタイトルにおいて同時アクセス数の大幅拡大を実施いたしました。



J-DAC 収録コンテンツ「都道府県統計書データベース」の無償公開を実施

丸善雄松堂では、2012年よりサービスを開始した人文社会系に特化した貴重史料のオンライン配信プラットフォーム「J-DAC(ジャパン デジタル アーカイブズ センター)」に収録する「都道府県統計書データベース」を、4月2日から7月31日までの期間、休館等により図書館を利用できない皆様の学習や研究の支援を目的に、期間限定で無償公開いたしました。*J-DAC(<https://j-dac.jp/>)は、文部科学省の令和元年度「研究支援サービス・パートナーシップ」の認定を受けました。



丸善出版(株)

映像教材配信サービス「EVO」の無料提供を実施

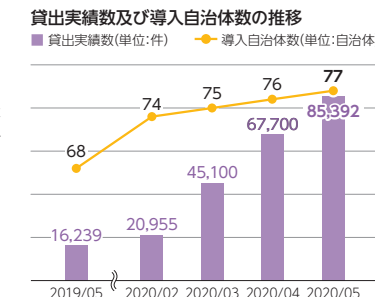
丸善出版では、医療・看護向けに通常有料で提供している映像教材配信サービス「Educational Video Online(EVO)」の全コンテンツを4月から7月31日までの期間、学校での授業遅延への影響を鑑み、学習の支援を目的に、期間限定で無料開放いたしました。期間中、大学、看護学校、病院など500件近くの教育機関から申し込みがあり、オンライン授業などで活用され、多くの先生方から高い評価をいただきました。



電子図書館サービス「TRC-DL & LibrariE」の貸出実績数が前年同月比526%に!

新型コロナウイルス禍における新しい生活様式が求められる中、図書館においては、非来館サービスの拡充が必須となりつつあり、自宅から利用できる電子図書館サービスの需要が高まっています。図書館流通センターが提供する電子図書館サービス「TRC-DL & LibrariE」による電子書籍の2020年5月の貸出実績数は、前年同月比で526%となりました。

各自治体におけるご採用・システムの導入も進み、この一年間で68自治体から77自治体まで導入数が増加しました。今後も利用及び需要の拡大が期待できます。



図書館流通センター

連結財務データ

財政状態 (単位: 百万円)

	当第2四半期末 (2020年7月31日現在)	前期末 (2020年1月31日現在)
総資産	125,506	132,338
●流動資産	88,162	96,965
●固定資産	37,284	35,294
(有形固定資産)	22,059	21,199
(無形固定資産)	1,655	1,507
(投資その他の資産)	13,569	12,587
●繰延資産	59	78
負債	86,059	92,564
●流動負債	62,112	67,574
●固定負債	23,946	24,990
純資産	39,447	39,774
●株主資本	39,081	39,011
●その他の包括利益累計額	△ 871	△ 423
●非支配株主持分	1,237	1,186

損益の状況 (単位: 百万円)

	当第2四半期(累計) (2020年2月1日から 2020年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2019年2月1日から 2019年7月31日まで)
●売上高	85,221	90,915
●営業利益	1,742	2,017
●経常利益	1,653	1,953
●親会社株主に帰属する四半期純利益	255	1,433

キャッシュ・フローの状況 (単位: 百万円)

	当第2四半期(累計) (2020年2月1日から 2020年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2019年2月1日から 2019年7月31日まで)
●営業活動によるキャッシュ・フロー	8,340	8,523
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,950	△ 868
●財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,035	△ 7,802
●現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	6
●現金及び現金同等物の増減額	△ 646	△ 141
●現金及び現金同等物の期首残高	22,344	21,477
●合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	44	—
●現金及び現金同等物の四半期末残高	21,743	21,335

グループ一覧

当社グループは、日本の知の発展のために、紙や電子の垣根を越えて、あらゆる利用者が「必要なときに、必要な形態で」知を得ることのできる快適なプラットフォームを提供してまいります。

丸善CHIホールディングス(株)



株式情報 (2020年7月31日現在)

株式の状況

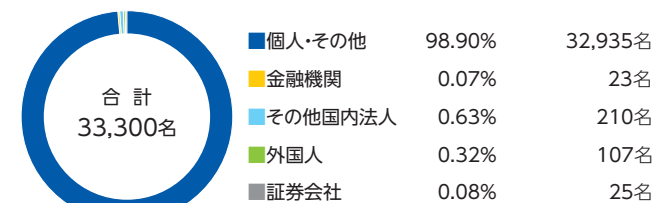
発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	92,554,085株
株主数	33,300名

大株主一覧

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大日本印刷株式会社	49,528,336	53.51
工藤 恭孝	7,107,410	7.67
株式会社講談社	4,028,000	4.35
株式会社トーハン	3,694,406	3.99
有限会社淳久堂	2,896,080	3.12
株式会社小学館	2,203,500	2.38
石井 昭	1,506,426	1.62
丸善CHIホールディングス従業員持株会	1,480,777	1.60
公益財団法人図書館振興財団	919,368	0.99
日販グループホールディングス株式会社	862,300	0.93

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況



所有者別株式分布状況



※個人・その他には自己株式6,083株を含んでおります。

株主メモ

事業年度	毎年2月1日から翌年1月31日まで
基準日	毎年1月31日
株主総会	毎年4月
1単元の株式数	100株
公告の方法	電子公告による公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない 場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
<公告掲載URL>	http://www.maruzen-chi.co.jp/ir/notification/index.html
上場	東京証券取引所市場第一部
証券コード	3159

株式事務の取扱場所

株主名簿管理人 及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-1 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 同事務取扱場所 〔郵便物送付先〕 〔電話照会先〕	〒168-0063 東京都杉並区和泉2-8-4 三井住友信託銀行株式会社証券代行部 電話フリーダイヤル0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社全国各支店

住所変更、単元未満株式の買取、 配当金受取方法の変更等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました
株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社
にお申し出ください。

未払配当金のお受け取りについて

ゆうちょ銀行などでの払渡期間を経過した配当金のお受け取り
については、三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
当社は、定款の定めにより、配当金のお支払期限を支払開始か
ら3年としております。配当金はお早めにお受け取りください。